

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: R5 年 12 月 15 日

事業所名:

サービス種類:(例:児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	ホール内でST・OT・PTのリハビリ訓練を受ける。宿題・制作活動、3つの取り組み(療育玩具)を選択し取り組んでいる。	はい 34人 どちらともいえない 7人 いいえ 0人 わからない 2人	定員に対してのスペースの基準は満たしている。
	2 職員の適切な配置	児発管を主に、定員に対して児童指導員、リハビリ職員、保育士を配置しているため満たしている。	はい 39人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 3人	今後も多職種で支援を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	バリアフリーではあるが、周辺が道路の為自動ドアのスイッチを切ったり、ドアの施錠など行っている。	はい 41人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 2人	今は問題はないが配慮を怠らず、対策を共有しておく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	開所前後、換気、拭き上げ清掃、掃き掃除、トイレの清掃等毎日行っている。	はい 41人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 1人	感染症対策を施し、清潔を保ちホール内外の清掃整理整頓を行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々振り返りを行い、個々に応じた支援、改善点、共有すべき事など話し合い、早めに対処できるようにしている。		情報を共有し、職員間で話し合いを重ねる。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は受けていない。		今後、検討したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内外の研修に参加している。参加者は全職員に伝達研修を行っている。加えて、eラーニングによる全職員研修も開始している。		職員の資質向上・スキルアップするために参加する。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談や日々の送迎時などに保護者と話し合い、ニーズを聞き取ったうえで目標を決めていき、支援計画を作成している。		本児、保護者のニーズを踏まえ、支援計画書を作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ作成している。	はい 43人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	児童一人ひとりの個性・強みを伸ばしていけるような計画を作成し、無理のないようにする。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の状況、発達段階を考慮したうえで具体的な支援内容を記載している。		子どもに寄り添った支援の作成を記載する。
4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の計画の目標に沿うよう、日々の支援を行っている。	はい 43人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 0人	日々の振り返りを大切にし、試行錯誤しながら、計画に沿った支援を実施できるようにする。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
適切な支援の提供(続き)	5	チーム全体での活動プログラムの立案	全職員で話し合い、個々に応じたプログラムを立案している。		多職種で話し合い・意見交換を重ね、活動のプログラムを立案する。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	時間に相違があるため、その日にできる支援、活動などを無理なく行っている。長期休暇には長時間であることを活かして、外遊びの充実、買い物経験など日頃経験できないことを行っている。	はい どちらともいえない いいえ わからない	41人 1人 0人 1人	長期休暇などでは、日頃実施できにくい外出や公園で遊ぶなど活動的な計画をする。平日では、個々ができることを自分で選択し、できたことへの満足感・達成感などを共有する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節や年中行事を意識できるように活動プログラムを実施している。また、個々が取り組むプログラムを自己選択できるようにしている。			感染予防に撤した上で、創意工夫を取り入れた活動のプログラムの充実を図る。個々に応じた楽しめるプログラムを今後も模索する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	来所前に支援内容や送迎、担当児童の割り当て、共有事項の確認をしている。			支援の内容、配慮する点、担当など職員間で共有を行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援の振り返り、反省点、改善点を多職種で話し合い、情報を共有している。			職員間で話し合い、情報を共有する。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援について個々のケース記録に記載している。支援の検証・改善点については業務日誌の振り返り欄に記載している。			日々の記録(成長点、気になる点、共有したい点)などを適切に記載し、次回への支援につなげる。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に1回モニタリングを行い、そこでのニーズや課題を踏まえて多職種で会議し計画の見直しを行っている。			今後も多職種で話し合い、引き続き取り組む。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議や地域の療育に関する会議に出席している。			今後も参加し、情報共有を図る。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	関係者、保護者と密に情報を共有して支援を実施している。			保護者・関係者と連携を密とし、支援を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	事前にかかりつけ病院や緊急時の対応について聞き取り、連絡体制を整備している。また、隣接している病院とも協力体制を整えている。		体調管理を行い、緊急対応の共有を図る。 保護者に連絡、慌てず適切に行う。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	教員、相談支援事業所、他事業所等の見学や相談には随時受け入れている。その中で情報共有を行っている。		引き続き、情報共有を図る。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	卒業する児童がいる場合には、引き継ぎのためのサービス担当者会議等に参加して情報共有を行ったり、随時情報提供したりしている。		引き続き、情報提供を行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関等の研修には積極的に参加している。		研修受講を意欲的に行う。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、そのような交流や活動は行っていない。	はい 9人 どちらともいえない 3人 いいえ 2人 わからない 29人	今後、検討を行う。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所の行事への招待は行っていない。	はい 9人 どちらともいえない 3人 いいえ 2人 わからない 29人	今後、検討を行う。
保護者への	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前の契約書・重要事項説明書にて説明を行っている。支援の内容については適宜口頭や連絡帳、リハビリの活動記録等で説明している。	はい 42人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 1人	今後も継続する。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	原案をもとに、児発管、リハビリ職員、児童指導員、保護者で面談を行い説明している。	はい 42人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 1人	保護者のニーズ、個々の状態を把握した上で支援内容を分かりやすく丁寧に伝える。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングは現在実施していないが、実施に向け職員の研修を計画している。	はい 19人 どちらともいえない 2人 いいえ 4人 わからない 18人	ペアレントトレーニング実施に向け、多職種で話し合いを重ねる。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳や送迎時のやり取り、リハビリ職員の活動記録等で情報交換し、共通理解を形成している。	はい 42人 どちらともいえない 1人 いいえ 0人 わからない 0人	日々の様子を送迎時口頭で行っている。口頭が無理な場合は活動記録、連絡帳でのやりとりでできるだけ情報を共有し、家庭と連携した支援を行っていきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
説明責任・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があれば、いつでも受け入れが出来る様に担当者を知らせている。	はい 42人 どちらともいえない 0人 いいえ 1人 わからない 0人	保護者の皆様が安心して相談できる雰囲気作りを心がける。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、父母の会や保護者会はない。	はい 4人 どちらともいえない 3人 いいえ 11人 わからない 25人	感染状況を見ながら、保護者の方々が触れ合える場を設けたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルで苦情窓口を明確に知らせ、苦情があった場合速やかに対応できるようにしている。	はい 22人 どちらともいえない 2人 いいえ 1人 わからない 18人	苦情があった際には、話を傾聴し、迅速な対応ができるように職員間で周知しておく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	通信やSNSではプライバシーに配慮しつつ、写真による伝達を行っている。文章や口頭による伝達も適宜行っている。	はい 38人 どちらともいえない 2人 いいえ 0人 わからない 3人	プライバシー保護を徹底し、また偏りがないように配慮している。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的に通信やSNSによる活動の様子や行事予定、連絡事項などを発信している。	はい 42人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 1人	プライバシー保護を徹底し、また偏りがないように配慮している。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に該当する書類は管理を徹底し、職員にも個人情報の取り扱いについて周知徹底している。	はい 38人 どちらともいえない 0人 いいえ 1人 わからない 4人	取り扱いには十分に配慮し、職員間徹底している。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、職員には周知している。保護者の方には閲覧できる旨を伝えている。	はい 34人 どちらともいえない 2人 いいえ 1人 わからない 6人	緊急時・感染症などのマニュアルを保護者の方々に目を通して頂ける場所に設置。再認識して頂く。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回(6月・12月)実施。火災・水害・地震等を想定し、事前に役割分担や避難先を検討している。実施後は振り返りをして反省・改善に努める。	はい 25人 どちらともいえない 2人 いいえ 0人 わからない 16人	訓練の様子や内容を通信や連絡帳で伝え、母体病院での訓練に参加。引き続き年2回は訓練を実施する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内外の研修に機会があれば参加している。eラーニングでも全職員が研修を受けている。		虐待の疑いが見受けれたら、すぐに報告する義務があることを周知しておく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
母の対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		緊急時、必要な時、保護者と話し合いをし対応する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		必要に応じて、しっかりと把握し対応する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		利用者や保護者との関連する事例など挙げ、改善策・配慮点など周知しておく。